

上下水道事業評価(令和2年度)

担当課

料金課

1 事業情報

目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施策	6-1 財政基盤の強化	事業	6-1-2 収納率の向上
----------	----	------	-----------	----	-------------	----	--------------

2 事業評価の概要

項目	内容						
基本政策	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。						
事業目的	財政基盤を強化するとともに、料金負担の公平性を確保するため、収納率の向上を図ります。						
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	<ul style="list-style-type: none"> 口座振替納付の加入促進についての調査・研究を進めます。 現年度収納率の維持及び過年度収納率の向上が図られているか検証します。 						
期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月						
予算額 決算額	予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出
	事業費計	81	81	0	0	0	0
	工事費	0			0		
	原材料費	0			0		
	委託料	0			0		
	賃借料	0			0		
	その他	81	81		0	0	
人件費	1,185	1,185		1,185	1,185		
							単位:%
							0%
							0%
							0%
							100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	0	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	0%		
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> お客様の利便性の向上のため、インターネットによる口座振替受付サービスの更なる調査・研究を進めています。 現年度収納率は81.35%、過年度収納率は89.65%(2月末時点)であり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、4.5.6月の給水停止の執行を行わなかったことにより、昨年度同期と比較して減少しました。 			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	<ul style="list-style-type: none"> お客様の利便性の向上のため、インターネットによる口座振替受付サービスが可能な金融機関が増加できるか、埼玉りそな銀行に相談をしました。 現年度収納率は89.57%、過年度収納率は93.94%であり、昨年度と比較し、料金改定の影響により未収金として計上される3月調定額が高額になったことにより現年度の収納率が低下し、また、2年ぶりに不納欠損を行ったことにより過年度収納率は向上しました。 			
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた			
事業達成度 C~Eの理由				

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	収納に占める口座振替利用率	単位	%	目標値	66.56	67.06	67.06	
算出式・根拠	(現年度口座収納件数/現年度総収納件数)			実績値	64.30	64.39		
指標名	過年度収納率	単位	%	目標値	89.50	89.60	93.05	
算出式・根拠	(過年度収納額/過年度調定額)			実績値	92.29	93.94		
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	インターネットによる口座振替受付ができる金融機関を増やすことができるか研究を続けます。	現状維持で継続